

2005年3月期
第3四半期 決算説明会

2005年1月28日
沖電気工業株式会社

1. 2005年3月期 第3四半期業績について

- 1) 決算概要
- 2) P/Lの概要
- 3) B/Sの概要
- 4) セグメント情報
- 5) キャッシュ・フロー

2. 2005年3月期 通期業績予想について

- 1) 前提条件
- 2) セグメント別状況について

本資料における予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる可能性があります。

- 通信キャリア向けIPネットワーク、LCDドライバ・P2ROM等のLSIを中心に売上高は大幅増加(四半期別平準化への取り組みも貢献)
- 売上増加に伴い収益も大幅に改善(第1～3四半期累計で経常利益黒字化)
- 有利子負債が362億円圧縮するなどバランスシートも改善

(億円)

	第1～3四半期累計			第3四半期(3ヶ月)		
	04/3期	05/3期	増減	04/3期	05/3期	増減
売上高	4,283	4,784	501	1,470	1,587	117
営業利益	5	64	69	33	49	16
経常利益	70	17	87	11	23	12
当期利益	115	11	104	9	18	27
総資産	6,107	5,891	216	-	-	-
株主資本	949	1,115	166	-	-	-
有利子負債	3,223	2,861	362	-	-	-

■ 第3四半期 比較連結P/L (億円)

	第1～3四半期			<参考> 第3四半期	
	04/3期	05/3期	増減	04/3期	05/3期
売上高	4,283	4,784	501	1,470	1,587
(売上原価率)	(75.4%)	(74.1%)	(1.3%良化)	(74.3%)	(73.0%)
売上原価	3,230	3,546	316	1,092	1,159
(販管費比率)	(24.7%)	(24.5%)	(0.2%低下)	(23.4%)	(23.9%)
販管費	1,058	1,174	116	345	379
営業利益	5	64	69	33	49
営業外収支	65	47	18	22	26
経常利益	70	17	87	11	23
特別利益	11	27	16	3	22
特別損失	104	53	51	30	7
税引前利益	163	9	154	16	38
法人税等	48	2	50	7	20
当期純利益	115	11	104	9	18

<累計P/Lポイント>

- 売上高は通信・デバイスを中心に各セグメントで増加
- 調達コスト低減効果等により売上原価率は改善
- 営業利益は情報が減益となるものの、通信・デバイスの増益幅が大きく、全体では大幅増益
- 当期純利益は営業利益増に加え営業外収支、特別損益の改善もあり大幅増益

■ 第3四半期 累計比較

- 営業外損益は金融収支、為替損益とも良化し、あわせて18億円の改善
- 特別損益は今年度には固定資産売却益、前年度には災害損失が大きく、あわせて67億円の改善

(億円)

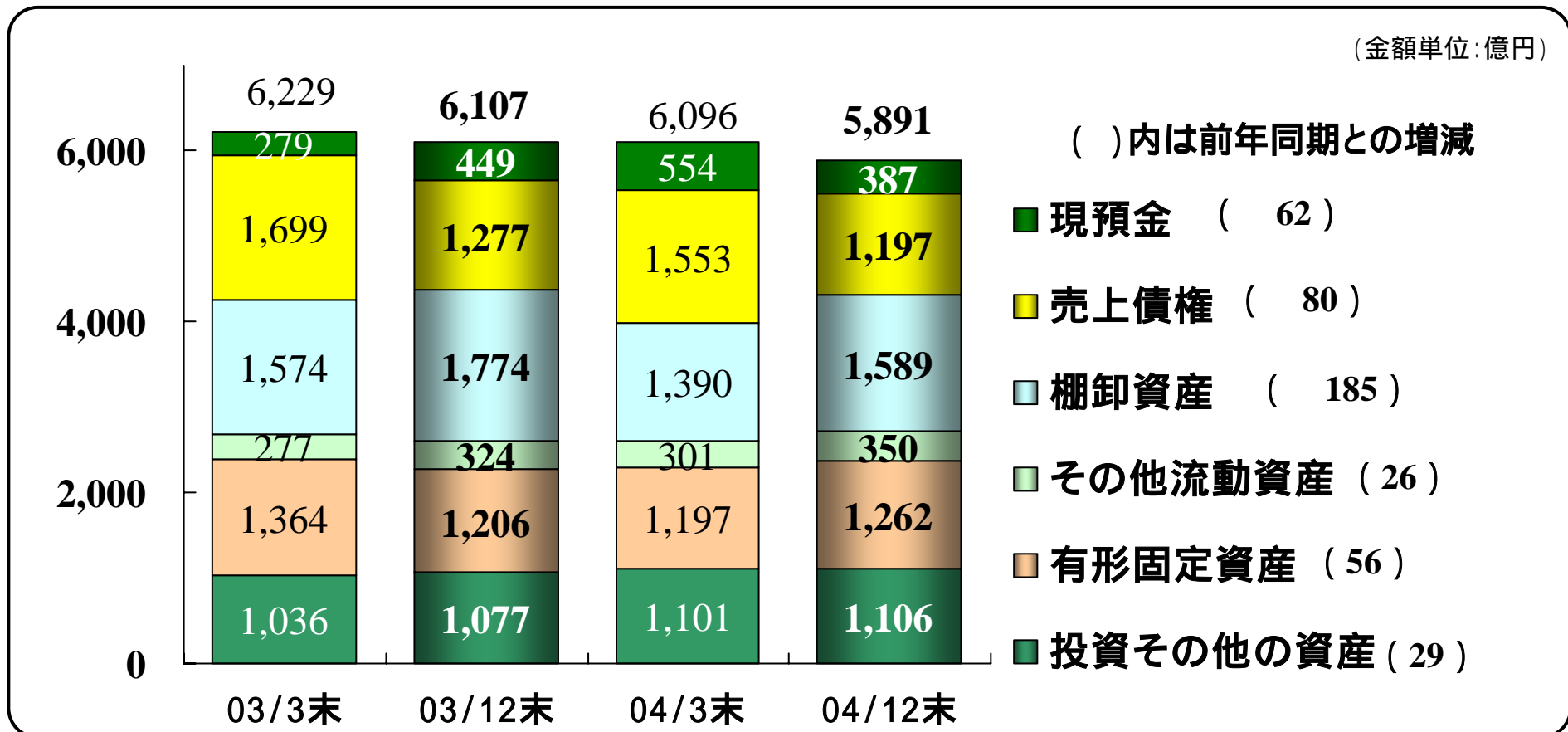
	04/3期	05/3期
営業利益	5	64
受取利息/受取配当金	9	11
為替差益	-	4
その他	14	6
営業外収益	23	21
支払利息	55	51
為替差損	16	-
その他	17	17
営業外費用	88	68
経常利益	70	17

	04/3期	05/3期
経常利益	70	17
固定資産売却益	0	12
投資有価証券売却益	9	15
その他	2	0
特別利益	11	27
固定資産処分損	23	21
災害損失	34	0
特別退職金	21	16
その他	26	16
特別損失	104	53
税引前当期利益	163	9

【貸借対照表 - 資産の部】

- 売掛金、棚卸の圧縮等により総資産は前年同期対比216億円減少
- 主要な資産回転率も大幅に良化

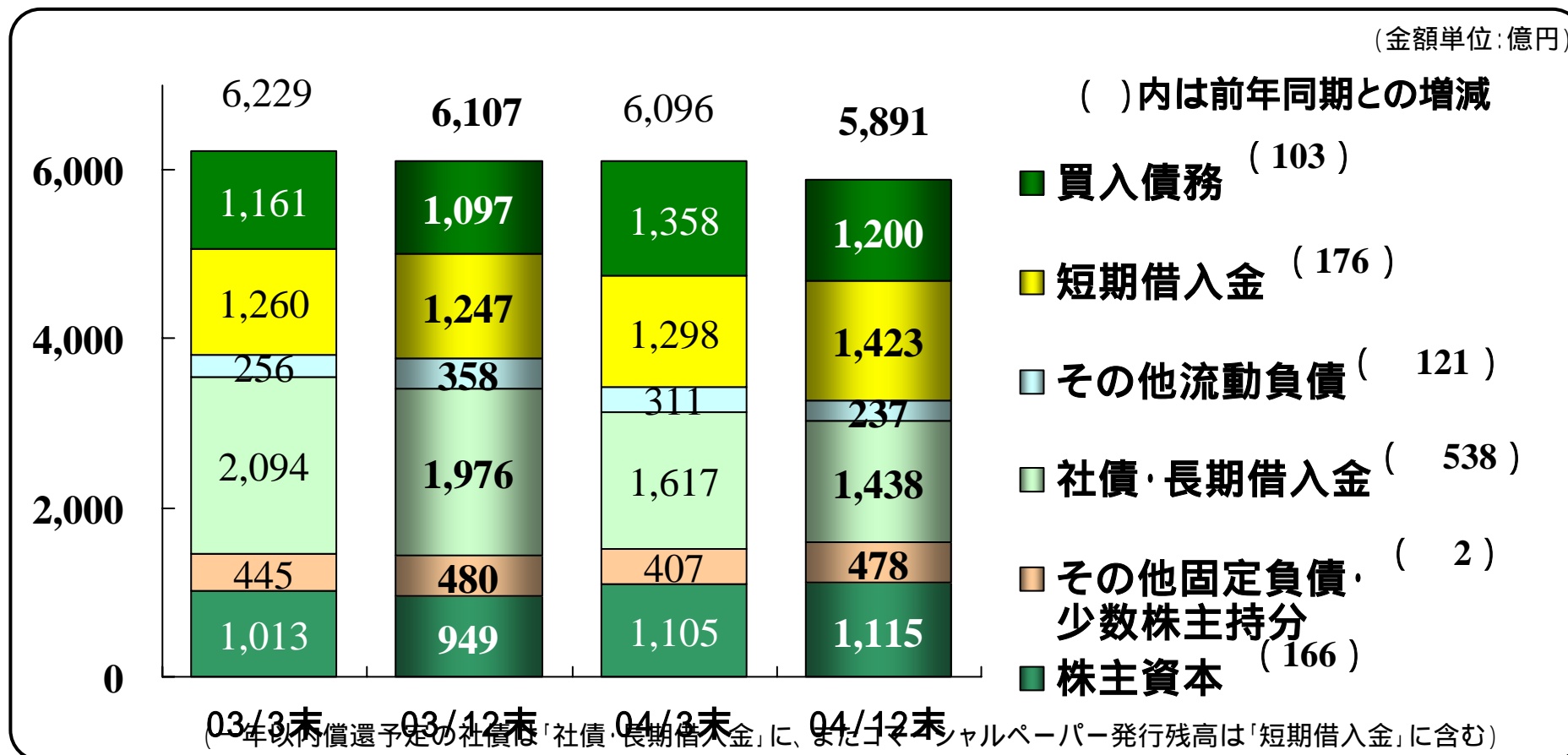
	03/12末	04/12末	差異
総資産回転率	0.93	1.06	0.13良化
売上債権回転率	3.84	4.64	0.80良化
棚卸資産回転率	3.41	4.28	0.87良化



【貸借対照表 - 負債・資本の部】

- キャッシュ・フローの改善により、有利子負債を前年同期比362億円圧縮

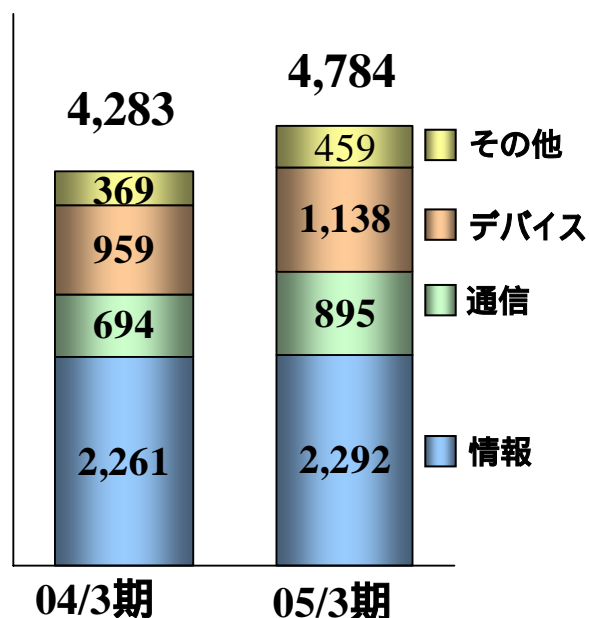
	03/12末	04/12末	差異
有利子負債残高(億円)	3,223	2,861	362減少
有利子負債比率(%)	52.8	48.6	4.2良化
株主資本比率(%)	15.5	18.9	3.4良化



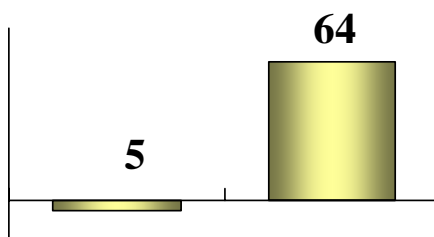
< 第1～3四半期累計 >

(単位: 億円)

売上高



営業利益



売上高

- 全てのセグメントで増収
- 情報はプリンタが増収となるものの、新紙幣対応完了によるATMの売上減少が大きく、全体では微増
- 通信はキャリアによるインフラ投資拡大により大幅増収
- デバイスはLCDドライバやP2ROMを中心に大幅増収(昨年は地震による機会損失50億円あり)

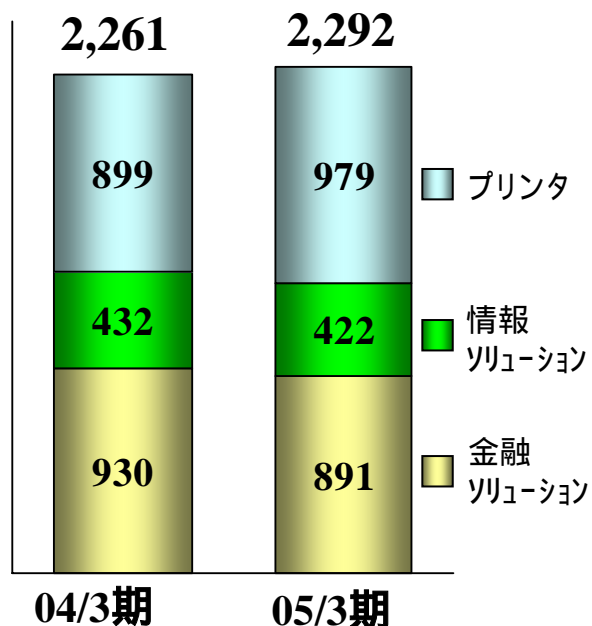
営業利益

情報は前年同期比で大幅減益だが、通信およびデバイスはそれを上回る増益、全体としては大幅増益

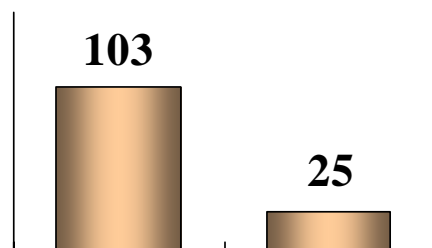
< 第1～3四半期累計 >

(単位: 億円)

売上高



営業利益



売上高

【プリンタ】

カラーNIPの売上は拡大、SIDMIは堅調であり前年同期比増収

【情報ソリューション】

官公庁向け、企業向けなどに投資の遅延傾向があり売上高は微減

【金融ソリューション】

新紙幣対応完了によるATMの減少とそれに伴う無償保守の増加による売上の減少が大きく、金融窓口端末が増加するものの全体では減収

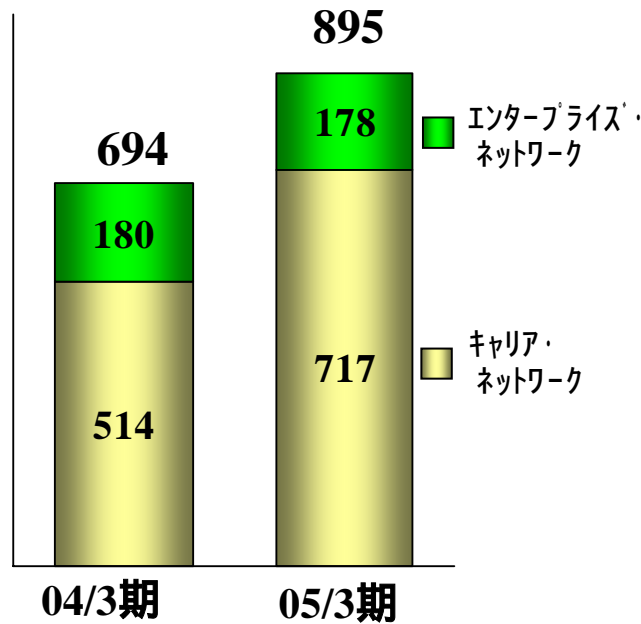
営業利益

金融におけるATMの売上減少および保守収入の減少、情報分野での価格競争の激化、更にはプリンタでの開発費や販売のための先行投資増加などにより大幅減益

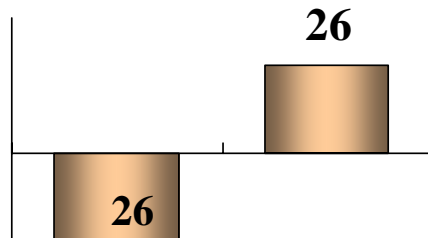
< 第1～3四半期累計 >

(単位:億円)

売上高



営業利益



売上高

【エンタープライズ・ネットワーク:EP-NW】

情報通信融合ソリューションの柱であるSS9100の引き合いは活発であるが、実績はほぼ前年どおり

【キャリアネットワーク】

通信キャリアのIPネットワークインフラへの投資拡大により大幅増収

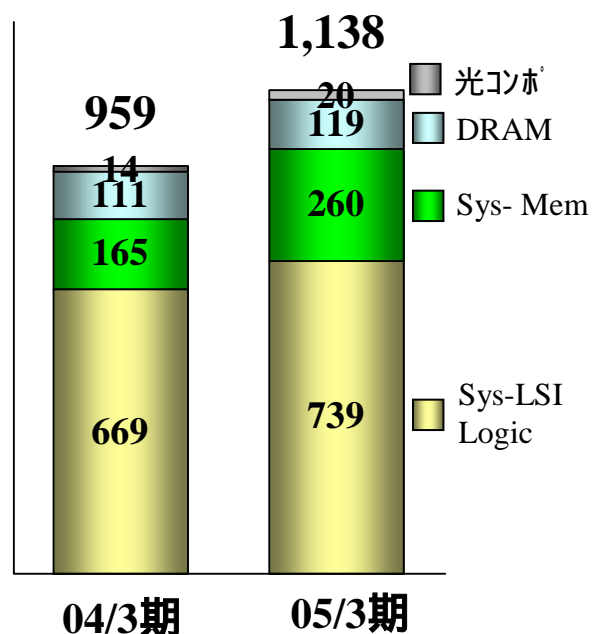
営業利益

通信キャリア向け売上高の拡大により大幅増益

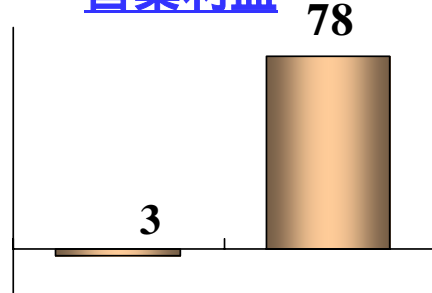
< 第1～3四半期累計 >

(単位: 億円)

売上高



営業利益



売上高

【システムメモリ: Sys-Mem】

ゲーム機等のアミューズメント、電子辞書、教育機器、プリンタ等でP2ROMの売上増加

【システムLSI・ロジック】

LCDドライバLSI、受託生産を中心に大幅売上増ただしLCDドライバやPHSなどで市況軟化傾向が見えはじめる

営業利益

大幅増収に伴う増益、光コンポの構造改革の成果、更に昨年の地震による機会損失30億円がなかったことから大幅な増益

キャッシュ・フローの状況

- 2004年11月、CBを200億円発行
- 通期のキャッシュ・フロー見込みは前回(10/28)公表値とかわらず

(金額単位:億円)

第1～3四半期累計	04/3期	05/3期	増減	<ご参考> 05/3通期予想 前回(10/28)
営業キャッシュ・フロー	387	248	139	650
税金等調整前当期純利益	163	9	154	160
減価償却費	252	237	15	350
運転資金の増減	169	94	75	100
その他	129	74	203	40
投資キャッシュ・フロー	76	359	283	450
設備投資支払額	145	305	160	360
その他投資活動	69	54	123	90
フリー・キャッシュ・フロー(+)	311	111	422	200
財務キャッシュ・フロー	126	56	70	250
社債発行	0	200	200	
社債償還	77	150	73	150
長短借入金等の増減	49	106	57	100
キャッシュ・フロー計(+ +)	185	167	352	50
現金同等物等の期末残高	472	417	55	531
有利子負債の期末残高	3,223	2,861	362	2,664

【経済見通し】

- ・ 企業の設備投資は堅調な反面、消費の牽引であったデジタル家電の活況は一段落
- ・ 原材料の高騰や、輸出の減速、円高などの景気への影響は懸念材料

【事業環境】

- ・ 情報 カラープリンタの市場は拡大。金融はじめ情報分野では競争が激化
- ・ 通信 通信キャリアのBB-IPネットワークインフラ投資は拡大継続
- ・ デバイス 半導体市場の成長は鈍化。市場軟化を受けて商品単価は下落傾向

【為替レート的前提】

	第1～3四半期		第4四半期
	想定レート	実勢レート	社内レート
USドル	105円/\$	107.7円/\$	105円/\$
ユーロ	130円/E	139.5円/E	130円/E

通期業績予想は前回(10/28)公表値を据え置く

売上高

- ・情報はプリンタが堅調である一方、金融・官公市場においては価格競争の激化および投資繰延べなどがみられる
- ・通信はキャリアによるインフラ投資が加速され、さらに増加傾向
- ・デバイスでは市況軟化を受けたLCDドライバの価格低下や、PHS用LSIの在庫調整による数量減少などがあり伸びは鈍化
- ・全体ではやや減少傾向にある

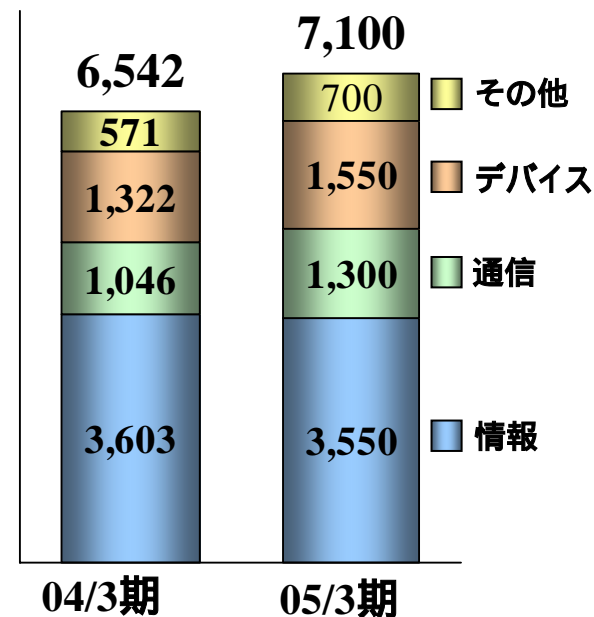
営業利益

情報およびデバイスでは売上減少による減益リスクがあるが、通信での増益期待もあり、全体では大きな変化はない見通し

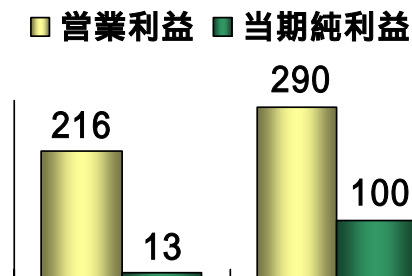
<ご参考:前回(10/28)公表値>

(単位:億円)

売上高



利益



売上高

【プリンタ】

カラーNIPおよびSIDMは堅調であり、売上はほぼ見込どおり推移

【情報ソリューション】

官公庁向けシステムの翌期への繰り延べ、旅客キャリア・エージェントの投資抑制・繰り延べなどがみられる

【金融ソリューション】

新紙幣対応完了後のe金融などの市場立ち上がり遅れや金融機関の投資繰延べなどがみられる

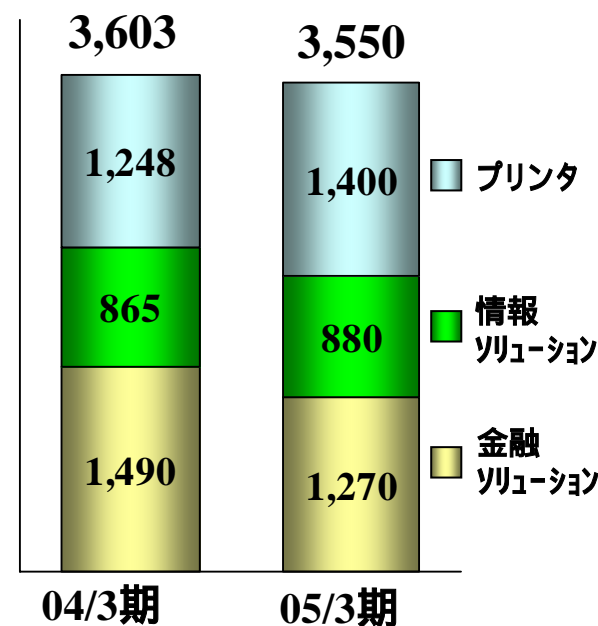
営業利益

金融・官公市場における売上減少による減益リスクあり

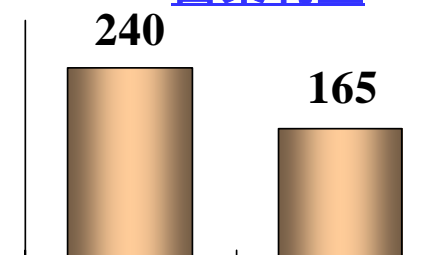
<ご参考：前回(10/28)公表値>

(単位：億円)

売上高



営業利益



売上高

【キャリアネットワーク】

地域IP網の拡充や、各キャリアによるIPネットワークの構築といったインフラ投資が加速、ゲートウェイなどの宅内機器の売上も堅調、これらにより売上高は増加傾向

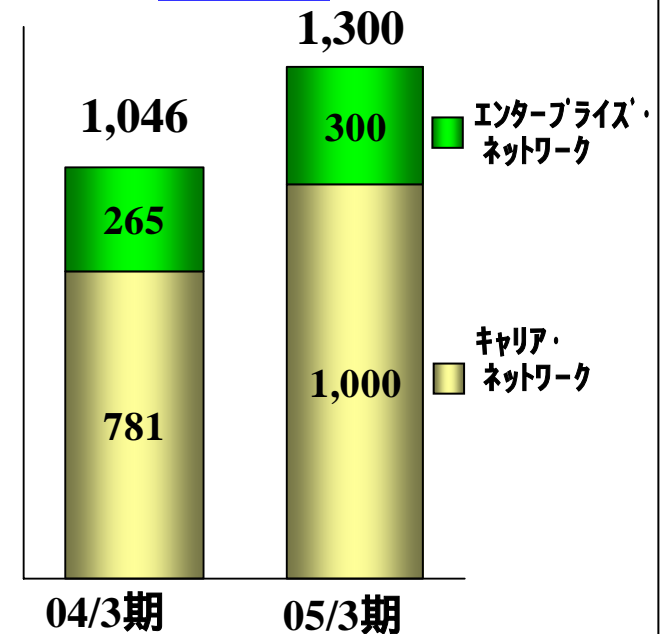
営業利益

売上増加により増益傾向

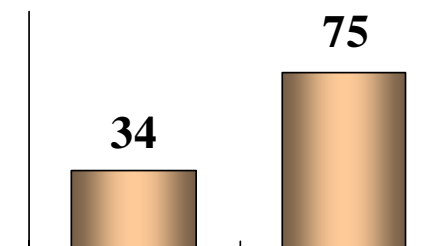
<ご参考:前回(10/28)公表値>

(単位:億円)

売上高



営業利益



売上高

【システムメモリ: Sys-Mem】

ゲーム機等のアミューズメント、電子辞書、教育機器、プリンタ等でP2ROMの売上はさらに拡大

【システムLSI・ロジック】

予想に対し中国でのPHSの在庫調整でPHSベースバンドLSIの売上減少および、LCDドライバの価格下落が見込まれる

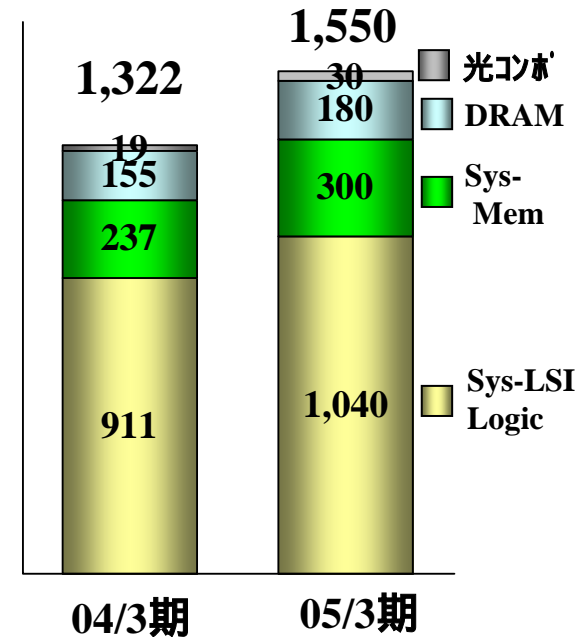
営業利益

市況軟化による価格下落圧力や数量の減少などリスクが顕在化している

<ご参考: 前回(10/28)公表値>

(単位: 億円)

売上高



営業利益

